

令和7年度第2回袖ヶ浦市立図書館協議会

1 開催日時 令和8年2月9日(月)午後2時開会

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚ホール

3 出席委員

委員長	吉村 真理子	副委員長	星野 裕司
委員	粕谷 久恵	委員	山田 真衣
委員	菊地 育子	委員	石井 喜三江
委員	榎本 今日子	委員	宮越 賢子
委員	及川 裕子	委員	武井 隆文

3分の2以上の委員が出席であり、袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則第3条第2項により本協議会は成立とする。

4 出席職員

教育長	鶴田 道雄	中央図書館長	柏木 喜男
長浦おかのうえ 図書館長	堀野 仁美	平川図書館長	吉末 孝司
中央図書館 奉仕班長	相武 麻衣子	中央図書館 庶務班長	細井 恵子
中央図書館 副主査	綿貫 彩香		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	3人
傍聴人数	0人

6 議 題

- (1) 第4次図書館サービス網計画(後期)の策定について : P.2
(2) 令和8年度図書館経営方針及び重点施策について : P.21

7 報 告

- (1) 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について : P. 27
- (2) 令和7年度夏・秋トショロフェアの実施結果について : P. 29
- (3) 平川図書館開館時間の試験的変更について : P. 40

8 議 事

吉村委員長：それではまず、議題（1）第4次図書館サービス網計画（後期）の策定について、事務局から説明をお願いします。

事務局（堀野館長）：資料をもとに説明。

吉村委員長：それでは議題（1）につきまして、ご質問やご意見いかがでしょうか。

石井委員：資料14ページに記載の「④高齢者に対するサービス」について、朗読CDを、収集にとどめるのではなく更に進めて、紹介してほしい。朗読CDに関する講座を開講してはどうか。

事務局(相武班長)：朗読CDを活用しての講座は開講しておりませんが、朗読サークルが図書館で朗読発表会を行っております。そのイベントの際などに大活字本と合わせて朗読CDについても周知を検討します。

宮越委員：資料9ページの【課題】の中で、資料貸出点数や新規登録者について、その伸びが受入点数の減少により「鈍化しています」とありますが、その根拠はあるのでしょうか。

事務局(堀野館長)：新しい資料の貸出率が高い統計データがあります。物価高騰の影響で購入点数が減少し、貸出率も低下しております。

星野委員：令和2年度は11,000冊。令和6年度は9,966冊と、約1000冊購入図書が減少している。本が値上がりしているため、同じ予算では購入できる冊数が減少する。開架図書の4%を入れ替える資料のリフレッシュ化という目標があると思うが、蔵書冊数約80万冊を所蔵するため、他市町村と相互協力するなどし、手に取られない本のスリム化を図り、分母を減らすことも必要ではないか。

事務局(堀野館長)：現状厳しいですが、古い本も書架に並んでいるため、閉架に編入し、新しい本が埋もれないよう、資料を見つけやすい探しやすい棚を作ることを心掛けたい。

粕谷委員：資料14ページに記載の「⑤図書館利用に障害のある人に対するサービス」とありますが、千葉県立中央図書館の「りんごの棚」のような、1か所に様々な障害に対応した本があるユニバーサルな棚を作り、そこに足を運びたくなる提供方法を模索してほしい。

菊地委員：資料14ページに「②関係機関との連携」とありますが、どのようなアプローチをしているのですか。

事務局(相武班長)：年に2回小学校へ文書で、また、校長会や教頭会にて依頼しています。

星野委員：資料12ページに「袖ヶ浦高校新入生の学校を通じた利用登録」とあるが、登録者を増やす方策として袖ヶ浦高校新入生のみを挙げることは、5か年計画としては視野が狭いと思われる。図書館と利用者を結びつける人生契機は他にもあるのではないか。

事務局(堀野館長)：小中学校にも働きかけを検討している。

事務局(相武班長)：昭和小2年生は、まち探検で中央図書館に来館するため、利用者登録をお願いしている。

星野委員：そういったことが他の小中学校にも行えれば、効果的な利用促進となるのではないか。図書館と利用者を結びつける人生契機を捉えて、図書館側から図書館利用の一步である資料利用券を作ってもらえるような、積極的な施策を行ってほしい。

吉村委員長：他にいかがでしょうか。それでは議題(1)につきまして、ご意見いただきましたので、そちらの方を勘案した上で事務局案をベースに、みなさま承認ということによろしいでしょうか。

(承認)

それでは、続きまして、議題(2)令和8年度図書館経営方針及び重点施策について、事務局から説明をお願いします。

事務局(相武班長)：資料をもとに説明。

吉村委員長：それでは議題（２）につきまして、ご質問やご意見いかがでしょうか。

及川委員：資料 26 ページ記載の「③ボランティア活動の推進」についてですが、私もブックスタートボランティアの活動を長年行っており、市外からのボランティア参加者もいて、参加できる機会を非常に有難いと話しています。ボランティアが増加するよう是非、推進してほしい。

宮越委員：資料 22 ページ記載の「(2)利用者に応じたサービス」についてですが、図書館を利用する各世代について、図書館がどのような居場所なのかを考えており、来館する各世代の利用者の交流がないと感じています。各世代が関わりを持てる機会を提供できないか。電子図書も普及しており、来館しなくても済むからこそ、足を運びたくなる仕掛けがあったらどうかと思う。

山田委員：袖ヶ浦高校生は、入学時に利用券を手にするが、持っているだけになっている。今年度は、電子図書の講座を開催してもらったが、全校生がタブレットを持っているので、是非、また、デモンストレーションをおこなってもらいたい。

吉村委員長：それでは議題につきましていろいろ出ましたご意見を勘案いただきまして事務局案の承認ということでよろしいでしょうか。

(承認)

それでは予定していた二つの議題を終了いたしましたので、議長の任を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

事務局（班長）：委員長ありがとうございました。

それでは事務局からいくつか報告事項がございます。

報告事項（それぞれ資料に基づき概要を説明）

- (1) 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について
- (2) 令和 7 年度夏・秋トショロフェアの実施結果について
- (3) 平川図書館開館時間の試験的変更について

事務局（細井班長）：それでは、令和 7 年度第 2 回図書館協議会を閉会いたします。皆様お忙しい中、長時間のご出席ありがとうございました。